

第103回 経営協議会議事録

日時 令和3年11月26日（金）14時00分～14時55分

場所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

清木委員（Webで出席）、田村委員、辻委員、西平委員、渡辺委員

永井、恵下、中川、松谷、山本 各理事

（松原監事、マグレビ副学長、本山教育学部長、芦田経済学部長、野村シス

テム工学部長、尾久土観光学部長、満田戦略情報室長、橋本企画課長、南

方総務課長、猪原財務課長）

欠席者 下委員、島委員、森田委員

学長から、第101回（9月30日）及び第102回（書面審議）の議事録について確認があった。

議題

1. 令和3年度人事院勧告に伴う給与規程等の改訂方針について

松谷理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・12月期末の勤勉手当を来年6月手当で調整することとなると、6月までに退職した者の取り扱いをどうするのか。

→国の法律に基づき、適切に対応することとしている。

2. 海南宿舍の敷地の売却について

松谷理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

3. 令和2年度利益剰余金（目的積立金）の執行計画について

中川理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・松下会館を具体的にどのように活用していくのか。

→従来は、生涯学習の拠点としていたが、今後は、リカレント教育を主に活用していくこととしている。現在は、社会人を対象とした講座を開講し、多くの社会人（40名程度）が受講しており、今後更なるリカレント教育の充実を図っていきたいと考えている。

・放送大学学習センターは引き続き入居することとなるのか。

→引き続き入居いただくこととなっている。

・リカレント教育について、今後どのような講座を増やしていく予定なのか。
→現在、AI・データサイエンスの講座を開講している。社会人のニーズを踏まえたリカレント教育を行っていくことが重要であるため、自治体をはじめ、経営者協会、経済同友会などのニーズ調査を実施しているところであり、それを踏まえた内容の講座を開講していきたいと考えている。

報 告

1. 第4期中期目標・中期計画（素案）について

松谷理事から、資料4に基づき説明があった。

2. 令和4年度予算編成方針の方向性について

中川理事から、資料5に基づき説明があった。

（主な質疑）

・教員の業績評価は、研究費の配分に影響しているのか。

→教員活動状況評価の評価結果を、研究費の配分に影響させるような取組を行っている。

・若手の採用などで人員増があるとのことであるが、運営費交付金等で賄っていけるのか。

→第4期中期目標期間においては、人件費を75%までに抑え、外部資金の充実を目指していきたいと考えている。

・外部からの研究費は増加傾向なのか、減少傾向なのか。

→コロナ禍の影響もあり、件数は減少してきているが、今後は紀伊半島価値共創基幹を中心とした自治体や企業と連携を強化していく中で、更なる外部資金の獲得に努めていきたいと考えている。

3. 和歌山大学財務報告書2021について

中川理事から、資料6に基づき説明があった。

以 上